

●本書は施工後、お客様にお渡しください。

取付説明書

施工業者様用

スライドドアハンドル DHO-34/DHT-533

安全上のご注意

取付前に本書をよくお読みの上、正しく取付けてください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

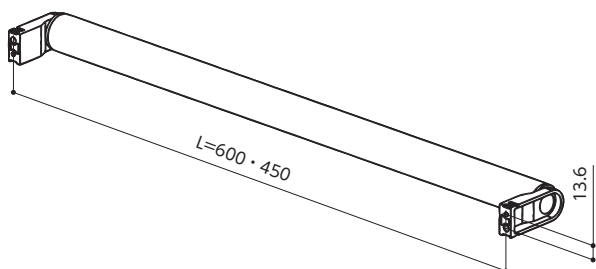
用語および記号、絵表記の説明

△注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

! ●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

■製品寸法 (本図は600mmタイプを示しています。)



■付属部品

△注意

! お願い 付属品の六角穴付ボルト(M5×45)は厚さ30mmのドア取付用です。ドアの厚さが30mm以外の場合は、厚さに見合った長さの六角穴付ボルトを別途ご用意ください。その際、必ず緩み止め処置を行ってください。

スライド ドアハンドル本体	ブラケットカバー	六角穴付ボルト M5×45(SUS)	ばね座金 M5 (六角穴付ボルト 用・SUS)
2本	4個	4本	4個

取付方法

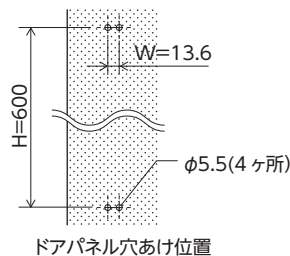
※本書は DHO-34 タイプで説明しています。DHT-533 も同様に取付けてください。

1 取付用穴あけ

製品寸法を参照に、φ5.5mm の穴あけを行ってください。
※600mm タイプの場合、穴あけ位置は H600×W13.6 になります。(右図参照)

△注意

- !** お願い ●施工用穴位置は±0.5mmとなる様、あらかじめドアパネルにあけておいてください。位置ずれ、ガタつきの原因となります。
- 施工面内部には適切な補強下地を入れてください。締め付け過ぎによるドアの破損を防止します。



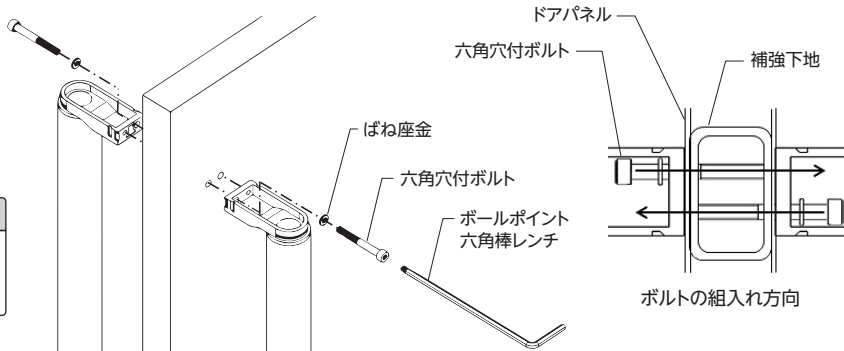
2 スライドドアハンドルの固定

ドアを挟み込むようにスライドドアハンドルを設置し、六角穴付ボルト・ばね座金にて固定してください。

※ボルトの組入れは、双方締め付けとなります。

△注意

- !** お願い 六角穴付ボルトの締め付けトルクは、2.0N・m(19.6kgf・cm)～2.4N・m(23.5kgf・cm)で行ってください。過度の締め付けはドアが変形するおそれがあります。

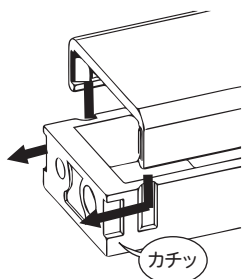


3 ブラケットカバーの取付け

10mm程度ドアパネルから離れた位置から、ブラケットカバーを上からかぶせ、その後奥にスライドさせるようにカチッと音がするまで押し込んでください。

△注意

- !** お願い ブラケットカバーを取付ける前に、スライドドアハンドルが確実に固定され、ガタつきが無い事を必ず確認してください。

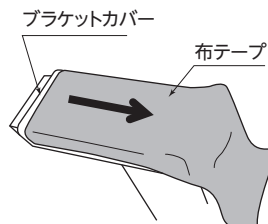


[ブラケットカバーの取外し方]

ブラケットカバーは、いたずら等により簡単に外れない様な構造になっています。万が一ブラケットカバーを外す場合は、強固な布テープなどをブラケットカバーに貼り、取手の代わりとして矢印方向に引いてください。

△注意

- !** お願い 無理にカバーを外そうとすると、カバーが破損するのでご注意ください。ブラケットカバーを再利用する場合は、必ずヒビ、割れ等の無いことを確認してください。脱落、ケガの原因になります。



スライドドアハンドル DHO-34/DHT-533

安全上のご注意 使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

警告 △記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

禁止 ⊘記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

強制 ●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

ご利用にあたって

警告

必ず実行

ぬれた手や、石けんのついた手で使用するときは、十分に注意して使用する

手が滑り、重大な事故につながるおそれがあります。

必ず実行

介助が必要な使用者の場合、介助者は事故が発生しないように、十分注意する
使用者がドアハンドルをつかみそこなうなどにより、重大事故につながるおそれがあります。

必ず実行

ドアハンドルと壁の間に、手や腕が入り込まないように、十分注意して使用する
手や腕をはさむなどにより、重大事故につながるおそれがあります。

禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解・改造はしない
ドアハンドルの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

禁止

ドアハンドル以外の用途(ぶら下がったり、ゆすったり、けったり)に使わない
ドアハンドルの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

禁止

強い衝撃は与えない
ドアハンドルの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

禁止

定期的に、ガタツキがないか確認し、ガタツキがある状態で使用しない
ドアハンドルの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

禁止

必要以上の力を加えない
ドアハンドルの許容静荷重は垂直・水平共588N(60kgf)です。この荷重以下であれば、多少の変形やガタツキが残る場合がありますが、はずれたり、割れたりしない範囲を示します。

禁止

水廻りでの使用はしない
ボルト等の劣化により、手すりの破損や脱落につながり、ケガをするおそれがあります。

注意

お願い

定期的な点検をする
いつまでもきれいな状態を保つために、ふだんは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、柔らかい布を中性洗剤の1~2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れた部分を拭き取ってください。

裸火厳禁

たばこなどの火を近づけない
ドアハンドルが焦げたり、溶けたりするおそれがあります。

禁止

アルカリ・酸性(弱酸性含む)・塩素系洗剤を使用しない
アルカリ性洗剤や酸性洗剤、塩素系洗剤を使用すると、部品が変色や劣化をすることがあります。

お手入れ方法 ドアハンドルの汚れは、日常の手入れにより美観・清潔感を保つことができます。日常のお手入れで落ちない汚れの場合には、下記の要領でお手入れしてください。

●手あかなど … 水拭きまたは、家庭用洗剤などを用いて、拭き取ってください。

●油、クレヨン等の汚れ異物の付着 … 家庭用洗剤、強力洗剤(柑橘類洗剤)などを用いて、拭き取ってください。

洗剤を使用する場合は、柔らかい布を中性洗剤の1~2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に水拭きと空拭きを行い、洗剤分が手すり表面に残らないようしてください。

推奨品

●家庭用洗剤
マイペット(花王)
マジックリン(花王)



●強力洗剤
オレンジース(ダイキョー)
オレンジマン(yuwa)



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

ナカ工業株式会社 URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノタール株式会社 URL <http://www.naka-techno.co.jp>



携帯のカメラで左のQRコードを読み取りアクセスしてください。